

水稻技術情報 NO-11

平成30年7月11日
J A 営農支援課

生育旺盛、速やかに中干しを

1. 水稻の生育状況

現在、葉齢からみた生育は「あきたこまち」で平年比『5日程度の遅れ』となっているものの、草丈や茎数、葉色等の生育量はこの10日間で急激な回復状態にあり、6月の低温で生育が遅れた昨年と同様にその他の品種も同様の傾向となっております。

現在、村内ほとんどの圃場で葉色が濃く生育旺盛な状態にあり、今後は草丈の徒長も懸念されることから、速やかに中干しを実施し有効茎数確保等に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月9日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	52.1	54.8	388	473	9.7	10.4	46.7	44.0
(慣行)	49.3		344		9.6		46.4	
(側条へ-ス等)	54.5		426		9.8		46.9	
前年比	117%		99%		0.1葉		101%	
平年比	95%		82%		-0.7葉		106%	
たつこもち	54.5	56.0	442	485	10.1	10.3	49.6	45.8
きぬのはだ	50.5	52.0	524	544	10.6	10.9	44.1	42.0
ときめきもち	46.3	50.9	449	501	9.7	10.4	45.3	43.5

2. 葉齢・幼穂長等からの出穂期予想

品 種 名	幼穂形成期	減数分裂盛期	出穂期予想	
	出穂前21日	出穂前10日	本年	平年
たつこもち	7月12日	7月23日	8月2日	7月30日
あきたこまち	7月17日	7月28日	8月7日	8月4日
きぬのはだ	7月20日	7月31日	8月10日	8月9日
ときめきもち	7月20日	7月31日	8月10日	8月9日

※上記の幼穂形成期と減数分裂期予想日は一般圃場(へドロ地)を指しておりますので、砂地圃場では3日程度早くなる見込みです。

《幼穂長と出穂前日数並びに低温に対する強弱》

幼穂長	出穂前日数	低温に対する強弱
2mm	21日(幼穂形成期)	やや弱い
7cm	13日(減数分裂始期)	最も弱い
15cm	10日(減数分裂盛期)	

※主稈を抜き、幼穂長を測定して出穂前日数の判断をしてください。

3. 今後の技術対応

1) 倒伏対策（あきたこまち；7月17日～24日頃が散布の目安）

過剰生育等により倒伏が心配される圃場は、つぎの薬剤で対応してください。

●倒伏軽減剤：ロミカ粒剤・1成分 [出穂前25～10日 散布量2～3kg/10a]

[3日間落水しないこと] 畦廻りスポット処理可能

2) 穂肥

本年の生育は、前述のとおりとなっておりますが、各自圃場の生育量・幼穂長等を確認のうえ、下表を参考に穂肥の可否を決めてください。

追肥の目安（あきたこまち：11葉期、 m^2 当り目標茎数 450～480本位）[単位；kg/10a]

幼穂形成期(11葉期)頃の生育		幼穂形成期追肥	減数分裂期追肥
草丈(cm)	葉色(SPAD)		
60以下	薄い(40以下)	1.0	1.0～1.5
60程度	色ムラがある	ムラ直し	1.0
60～65	普通(40～42)	追肥無し	2～3日早めに1.0
65以上	濃い(42～45)	追肥無し	追肥無し～1.0
	濃い(45以上)	追肥無し	

※11葉期の目標生育量指数；草丈× m^2 茎数 = 28,000～30,000程度

3) 病虫害防除

①葉いもち病

本年の天候や現在の葉色値等を勘案すると、今後葉いもち病の発生が懸念されます。オリゼート等での予防をしていない場合は、つぎの薬剤で防除に努めてください。

●コラトップ1 α 粒剤12・1成分[出穂5日前まで 散布量1kg/10a]

…[3日間湛水状態を保つ]

②稲こうじ病

7月中下旬の低温・多湿条件で多く発生しますので心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。特に前年発生した圃場については防除に努めてください。

●Zポルドー粉剤DL・1成分[出穂10日前まで 散布量3kg/10a]

…あきたこまち：7月21～27日頃が散布の目安

●モンガリット1 α 粒剤・1成分[収穫45日前まで 散布量1kg/10a]

…「紋枯病・稲こうじ病同時防除」：[3日間湛水状態を保つ]

③紋枯病

過剰生育の圃場(特に畦畔廻等)については、高温下での発生が懸念されますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。

●モンガリット1 α 粒剤・1成分[収穫45日前まで 散布量1kg/10a]

…あきたこまち；7月16～26日頃が散布の目安、[3日間湛水状態を保つ] 畦廻りスポット処理可能

④斑点米カメムシ類 「発生やや早く、やや多い」予報

ヒエ、ホタルイが残草している圃場は、それら雑草の穂に産卵し圃場内に定着するため、早めに除草剤または手取りで対応をしてください。

※「ばか苗病」の散見される圃場は、見つけしだい抜取りをよろしくお願いします。